

新年のご挨拶 — 日に新たに 日々に新たなり

病院長 田畑 直人

新春のお慶びを申し上げます。華やかさや賑やかさは実感できませんでしたが、清しい正月三が日で1年のスタートを切ることができました。

瞬間に全世界に広がった新型コロナウイルス感染症は、今も感染者・死者の増加が続いており、政治・経済をはじめ人間社会にこれほどまでに大きな影響を及ぼすとは当初は想像ができませんでした。強権的な管理政策をとった国、自粛要請で対応してきた国、成り行き任せで集団免疫を目指した国等々、壮大な社会的実験とも言える感染対策が世界規模で行われてきましたが、いずれもウイルスの前では力なく右往左往している現況です。いまだにマスク、手洗い、三密回避が主戦武器であることを考えると、目に見えない敵を前にしての無力さに呆然としてしまいます。

今、私たちは歴史的な大変化の最中を生きているに違いありません。テレワークにWEB会議、オンライン授業、遠隔診療・・・難航すると思われた様々な改革が否応なく進み、人々のライフスタイルや価値観まで変わっていきつつあります。他者への思いやりなど、残すべき人の心までが薄らいでいくことがないように祈るばかりです。

宮崎も厳しい医療状況に置かれていますが、私たちはコロナ感染症以外の医療にも向かい合い続ける必要があります。その一つに、さまざまな症状で苦しんでいる担癌患者さん方へのサポートがあります。この度、院内に16床の緩和ケア病棟を開設いたしました。専門医師を中心に、より良い療養環境とケアを提供し、ご家族の皆さんとご一緒に患者さんに寄り添ってまいります。私たちは、医療者としての“心と技”を磨きながら、社会の要望に応じて変化していく必要があります。従来の消化器肝臓病センター、生活習慣病センター、リハビリテーションセンターに緩和ケアセンターを加えた4つのセンターを有する多機能型病院として、これまで以上に地域の皆様のお役にたてるよう努めてまいります。

今は先が見通せない暗闇の中ですが、歩み続けるならばトンネルの出口のように必ず光が見えるはず。漠然と将来を案ずることなく、今日は昨日より良くなり明日は今日よりも良くなると信じて目の前の出来事に真摯に向き合い、鈍牛の如く一步一步踏みしめながら歩いていく年にしたいと思います。

皆様にとって、幸多く明るい一年になられることを心からお祈りします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

令和3年 辛丑(かのとうし) 正月

四季

題字 理事長自筆

新春号

2021年1月15日 発行



宮崎医療センター病院
宮崎市高松町2-16
TEL:0985-26-2800
FAX:0985-27-6811



左のポスターは、宮崎市江平に在住の星野和寅さんが全国の医療機関へ対し、コロナ禍の中、懸命に治療に当たる医療従事者に感謝の気持ちを伝えようと、メッセージを添えて贈っているものになります。当院にも、手書きの手紙まで添えて贈っていただきました。

お手紙の内容は、「最前線で治療に当たる医療従事者の皆様に、心より敬意を持ち感謝しております。皆様の健康を祈っています」というものです。

心温まる内容ですので、当院内にも掲示してありますので、お時間ある時に見ていただければと思います。

☆ ご来院いただく皆様へのお願い ☆



新型コロナウイルス感染防止の影響で、当院でも面会禁止及び入館制限を実施しております。患者様・利用者様を含め、ご家族や業者の方々へ検温や問診を行い、皆様にご不便やご迷惑をお掛けしているかと思いますが、感染拡大防止のために何卒ご理解とご協力をお願い致します。

理 念

○私たちは、自分が受けた医療・看護・介護を提供します。

基 本 方 針

- ・患者さまの権利と尊厳を大切に、心のこもった医療・看護・介護を提供します。
- ・根拠に基づいた説明のできる医療・看護・介護を実践します。
- ・全職種による安全で質の高いチーム医療を行います。
- ・急性期から在宅医療までを繋ぐ医療・看護・介護を提供します。
- ・地域連携に努め、地域包括ケアシステムの発展に貢献します。
- ・お互いを信頼し、やりがいと誇りを持てる職場にします。

新型コロナウイルス感染対策

当院でも新型コロナウイルス感染拡大防止のために、病院入口での検温や手指消毒等をお願いしております。既にご存知の内容かと存じますが、来院される皆様に少しでもご自身や周りの方を含め、次の実践例を参考にご自身の生活に合った「新しい生活様式」を実践していただければと思います。

- マスクの着用や咳エチケットの徹底
- 手洗い・手指消毒の徹底(手洗いは30秒程度、丁寧に行う)
- こまめに換気(湿度を高く保ちましょう)
扇風機や換気扇で空気を循環させましょう
- 身体的距離の確保(最低1m、できれば2mは間隔を空ける)
- 感染が流行している地域への移動は控える
人ごみの多い場所や込んでいる時間帯は避けて行動しましょう
地域の感染状況に注意
- 「3密」の回避(密集、密接、密閉)



◆携帯電話の使用について

患者様及びご来院中の方々より携帯電話の使用についての苦情が出ております。

当院では、病棟談話室または病院外での使用をお願いしております。

また、携帯電話をご利用の際は、周りの方へのご配慮をお願い致します。

なお、当院職員は院内業務連絡用としてPHSを使用しています。職員が使用するPHSの電波強度は通常のPHSの3分の1であり、医療機器への影響が少ない事を確認しております。

職員のPHS使用にご理解をお願い致します。



☆ 通所リハビリテーション作品 紹介☆

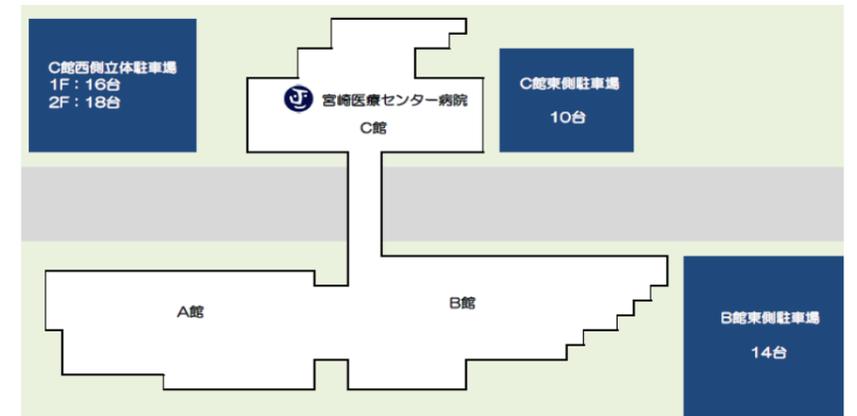
通所リハビリテーションの利用者様が季節の作品等を手作りしています。通所サービスでは、利用者様と一緒に花紙で作品を作って楽しんでいます。



通所リハビリテーション事業所では要支援1から要介護5の認定を受けられた方々が利用しています。興味のある方は近くの地域包括支援センターまたは担当ケアマネージャーにご相談ください。

《 お知らせ 》

土日祝祭日につきましては、C館東側駐車場を閉鎖しております。ご理解とご協力を宜しくお願い致します。但し、ご面会の方が多く駐車スペースが無い場合は状況により開放致します。



患者様の権利

- ・患者様は、良質な医療サービスを平等に受ける権利があります。
- ・患者様は、人格・意思が尊重され、人間としての尊厳を守られる権利があります。
- ・患者様は、自分自身の診療に関する情報の提供を受ける権利があります。また、他の医療機関の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
- ・患者様は、医療従事者から説明を受けた後に、提案された診療計画などを決定する権利があります。
- ・患者様は、プライバシーを尊重される権利があります。

【患者の皆様へのお願い】

良質な医療を実現するために、医師をはじめとする医療提供者に対し、ご自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供して下さいようお願い致します。